

MORI MORI PRESS

January
1
2012 新春号

モリモリアプレス

www.morita-toshikazu.com

森田としかず 検索 moritter 森田のつぶやき mori_morita
発行/埼玉県議会自民党議員団



tel.048-530-6001

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
fax.048-530-6002

討議資料



県政報告 埼玉県議会議員 森田としかず ニュースレター

ハツ場ダム 建設再開へ



議員連盟総会にて知事が報告

野田首相は昨年の12月23日、建設を凍結していたハツ場ダムの建設を再開し、平成24年度予算にダムの本体工事費7億円を計上することを発表しました。埼玉県の治水、利水を支えるダムの完成に向け、大きな一歩が踏み出されました。ハツ場ダムの建設については、政権交代直後、当時の前原国交大臣が一方的に建設中止を表明しました。これに対し、埼玉県議会は「ハツ場ダム建設事業の推進を求める県議会議員連盟」を結成し、県執行部と一体となり建設の再開を求めてきました。今回の再開表明をもって、私たちの運動が一定の成果を上げたこととなります。



約2年前の様子

現在は約8割の工事が完了

今年こそ上昇の一年に!!

昨年は震災があり、価値観を見直す一年となりました。蛇口をひねれば水が出て、スイッチを押せば電気がつくという生活は当たり前のものではなかったことに改めて気がつきました。また、原発の事故によって、危機管理の想定が甘かったことにも気づかされました。安全神話を捨て、理想主義に走らずに政治を行うべきという教訓を得ました。

一方、今年(竜(辰)の年。干支で唯一の空想の動物です。今年(は)夢を持つ年なのかもしれません。熊谷がさらに発展していくことを念じながら、地域発展のため微力ながらがんばってまいります。竜のように、地域、国が勢いよく上昇する一年でありますように!!

森田としかず

震災・原発 事故への対応

防災態勢の強化

災害発生時の帰宅困難者対策として、主要駅ごとに「帰宅困難者対策協議会」を設置し、県、市町村、鉄道事業者、大型店舗などが協力して対処できるよう地域防災計画を改正しました。

また、12月定例議会においては、災害拠点病院と災害派遣医療チーム(DMAT)に対して衛星電話、応急用医療資器材の設備整備を行うための補正予算を可決しました。(約3,300万円)



イメージ 生体情報モニター



イメージ 衛星電話

放射性物質への対応

24時間連続して空間放射線量を測定するモニタリングポストを、熊谷を含む県内5箇所に今年度中に設置します。また、土壌や食品の放射性セシウム濃度を測定するゲルマニウム半導体検出器を環境科学国際センター(加須市)に設置します。



モニタリングポスト



食品・土壌用放射能測定器

エネルギー政策

「エコタウンプロジェクト」ではモデルとなる1地区を指定し、官民共同での環境への取り組みを進めます。現在5つの候補地が上がっており、選考を進めています。また、行田浄水場においては、現在1.2メガワットのメガソーラーを建設中です。(3月完成予定)



浄水場にソーラーパネルを設置します

ドイツ 2011 11/1~4

カールスルーエ・フライブルク

環境先進地を視察すべく、ドイツの2都市を訪問しました。今回の視察でわかったことは、何か特別な方法があるわけではないということ。太陽光・熱、風力、水力、バイオマスの活用といった創エネ。ゴミの減量や自転車・路面電車の活用といった省エネ。地道な取り組みを総合することで、環境にやさしい地域ができるのですね。



ゴミの埋め立て地を活用



火力発電も併用します



ソーラーパネルを載せたビルや住宅

秩父市 2011 11/11

環境農林委員会

林業を効率化する高性能な機械を見せていただきました。作業道が確保できれば、機械化が可能です。急な斜面の土地では限界がありますが、適地を見極めつつ、豊かな森林資源を活かしていかなければなりません。



昭和電工では環境への負荷を減らす取り組みを行っています



業務の集約化、機械化を進めています

行田市・熊谷市 2011 11/18

図書室委員会

旧行田女子高校を改修して設置された総合教育センター。様々な教材、機材が揃っており、先生方の研修に活用されています。資料室には、全社の教科書が揃い、また古い教科書も保管されています。



埼玉県立総合教育センターではさまざまな領域の研修ができます



立正大学情報メディアセンター

